


たつ ことしは辰どし

はにゅうしりつとしょかん

「まゆとりゅう」

富安 陽子/文 福音館書店 E/マ

北のお山のとっぺんの3本杉の木の下に住んでいる、せいたかのつぼのやま
 んぼと、その娘まゆ。ある朝、となり山を見ると春の龍が出てきた跡が。その日に毎年やってくるというお客様を迎える準備をしていると…。

「りゅうのぼうや」

富安 陽子/作 校成出版社 E/リ

美しい満月の夜に生まれた竜のぼうや。生まれて3日目にはなんとか空を飛べるようになってぼうやは、その夜、地上のまちの明かりを見つけると、その光に向かって夜の闇を下っていき…。



「ちび竜」

工藤 直子/文 童心社 E/チ

小さな粒から生まれたちび竜は、いろいろな生き物に出会い、風や水と仲良くなっていく。やがてでかくなったちび竜は光る青い地球を抱いて…。



「ふでばこのなかのキルル」

松成 真理子/著 白泉社 E/フ

ある日、おじいちゃんの筆箱の中から現われた、へんてこな生き物・キルル。ぼくとキルルの楽しい日々は永遠だと思ってたけど…。



「たつのこたろう」

松谷 みよ子/文 講談社 E/タ

龍になった母をたずねて、長く苦しい旅に出たたろうは…。日本でいちばんかしこい「太郎」のおはなし。



「ドラゴンだいかんげい?」

デイヴィッド ラロシェル/文 徳間書店 E/ド

「犬を飼いたい」って言ってもママは「だめ」。だからある日、「ドラゴンを飼いたい」って言ってみた。そしたら…。



「りゅうの目のなみだ」

浜田 廣介/作 集英社 E/リ

ある山の中に、昔から忌み嫌われている大きなりゅうが住んでいた。でも、見たこともないのになぜ怖がるの?偏見のないひとりの子どもが、りゅうを想い探しに出かけた…。



「フランクリンの空とぶ本やさん」

ジェン キャンベル/ぶん BL出版 E/フ

ドラゴンのフランクリンは本が大好き。街の人たちと仲良くなって本を読んであげたいのですが、みんな怖がって逃げてしまいます。本好きな女の子ルナとふたりである計画を立て…。



「騎士とドラゴン」

トミー デ パオラ/作 ほるぷ出版 E/キ

ドラゴンとの戦い方を知らない騎士と、騎士との戦い方を知らないドラゴン。本を読み練習をし、準備も整っていざ勝負!すると…?



「なにしているの? タツ年のひとの絵本」

五味 太郎/作 クレヨンハウス E/エ

タツ年生まれのひとは、感情表現が豊かで、なかなかのまけずぎらい…? 12の干支の動物たちが主人公の絵本。



「おぞましいりゅう」

デイヴィッド ウィズナー/絵 BL出版 E/オ

魔女によっておぞましい竜に変えられてしまったマーガレット姫。兄リチャード王子は、妹にかけられた呪いを解くことができるのでしょうか…。



「竜」

今江 祥智/文 BL出版 E/リ

竜の子三太郎は気がよわくて、いつもいつも、沼の底でじいっと、いきをころしておるのだった。ところがある夜、三太郎は村人に見つかってしまい…。



「雨をよぶ龍 4年にいちどの雨ごい行事」

秋山 とも子/文 童心社 E/ア

埼玉県鶴ヶ島市脚折で4年に1度行われる雨ごい行事。龍神を作り始めるところから、町をねり歩き、雷電池へと担いでいくまで、伝統行事とそれを継承する人たちをいねいに描く。



「山をはこんだ丸ひきの竜」

松谷 みよ子/文 校成出版社 E/ヤ

退屈でしかたがなかった、いたずら大好きな9ひきの竜たちが思いついたのは、なんと山を運ぶことだった。エッサホイサと運んでいけば、いきなり山が出現した人間界は大きわぎ!

